



やらまいか

クラブテーマ：リラックス・ロータリー ～親睦と奉仕、肩の力を抜いて～

会長／樺山修一 幹事／細井勉 会報委員会／大仁孝泰・鈴木卓也 例会／毎週火曜日 12：30 豊川商工会議所
事務局／豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP：<http://toyokawahoi.tank.jp/>

本年度第38回 通算1717回 2023年5月23日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	5/9 修正出席率
		71名	37名	57.8%	66.2%

ゲスト：(なし) ビジター：メイクアップ受付1名

★会長あいさつ

樺山修一 会長



先週の例会は、本年度最後の親睦事業である春の行楽で静岡方面へ行ってまいりました。天候にも恵まれ、素晴らしい富士山の景色を眺めながら、美味しいフレンチを日本平ホテルで楽しんできました。この場を借りて、井指委員長をはじめ親睦委員会の皆さんに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

20日(土)には豊川市制施行80周年記念事業の一つである令和5年度愛知県植樹祭の式典が市体育館であり、出席してきました。翌21日は二十四節季の「小満」にあたります。小満とは太陽黄経が春分は0度、夏至は90度で、60度まで進んだ時期のことで、草木が成長し、天地にエネルギーがあふれ、万物が成長する時期と言われています。緑化祭からスタートした「おいでん祭」も今週末に4年ぶりに開催されるそうです。カーボンニュートラルの観点からも何か植えて育ててみるのは良いことだと思います。

す。実はミカンの木の苗を頂いたもので、庭に植えてみました。今後の成長といつか実をつけるのが楽しみです。

さて、ロータリーの特別月間として5月は青少年奉仕月間となっています。当クラブではボランコロボ穂の国7を青少年奉仕事業として行っています。ボランコロボの例会の時も言いましたが、地区の青少年関連の委員会としてインターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換が活動をしています。インターアクト、ローターアクトは提唱クラブ等、いろいろ制約があり、すぐに取り組めるわけではありません。一方、RYLAは二泊三日程度の短期間のプログラムで募集もウェルカムなので比較的、参加しやすいです。青少年交換は準備期間を含め一年以上の長期間のプログラムで審査も厳しいですが、大きな成果も期待できます。次年度は河本会員が青少年交換委員会に出向をされますので何か糸口をつかむことが出来ると良いと思います。期待しています。

本日は有馬会員のスピーチが聞けるという事で楽しみにしています。よろしくお願ひします。

★幹事報告

細井 勉 幹事

例会臨時変更のお知らせ
最終例会の送迎について

★新入会員スピーチ

有馬智也会員

皆さん、こんにちは。新入会員スピーチをします。

豊川の穂ノ原で、バスデイ(株)という会社でルアーの開発と製造をしています。お客様がどこで釣りをする、何の釣りをするというところから開発部隊がセンターにある会社です。市場



は、北海道から沖縄までの国内と海外です。一番大きな海外の市場はロシア、オーストラリア辺りになります。あとヨーロッパもあります。世界中どこにでも用命があればお届けできるようにしています。その現場現場の魚と環境に対してルアーを作って行くという仕事をやっています。

バスデイ(株)は、穂ノ原に工場を作ってから 40 年近くやっています。私で 3 代目になります。初代は、伊藤喜吉と言います。川嶋雅史と一緒に釣りをしていた人です。45 年ほど前になりますが、日本国内の魚釣りのルアーが海外から輸入されたもので、日本の河川や魚に対してサイズが大きいため、それを初代の伊藤喜吉と川嶋雅史が、日本のフィーリングに合わせて小さいサイズのルアーを作ろうと始めたのが最初です。ABS という材料を使って、金型で L と R を作って、それに重りやフックを挟んでくっつけて、それを磨いて、塗装して、針をつけたルアーを日本で初めて作った会社になります。

私が 29 歳の時に伊藤キヨシに拾ってもらいました。私の地元は神奈川県相模原市なんですが、開発の 1 から教えてやるから来いと言われて豊川に来ました。僕が伊藤喜吉から直でルアーのノウハウを教えてもらった最後の弟子になります。僕から下の人間は 6 人いますが、彼らは自分たちの弟子になります。基本的にどこの国に行っても釣りがあり、そのフィールドと魚と釣り方見ると、だいたいこのぐらいのサイズの魚には、これぐらいの重さだとルアーが僕らは分かるように徹底的にしごいてもらい、今があります。

日本国内において、コロナが始まってから、最初は売れませんでした。半年ぐらいお客さんが反応し

なくなりまして、そこから一気に物が動くようになりました。実は、量販店さんや業界店さんに自分の顔をさらしていないので、釣具屋さんを回ってみました。そこで聞いた話だと、普段家にいないお父さんや息子がコロナで家にいたけど、釣りに行くと言うと文句を言われずに出かけることが出来たという話を聞きました。お陰様でコロナ禍の 3 年は、自分たちが営業しなくても売れました。特に豊橋・豊川などの太平洋側の砂場の海岸は通年魚が釣れます。今までは、季節が来ないと釣れなかった青モノが通年釣れるようになりました。豊橋の海岸で釣りをされているお客様が多く買って下さっています。異常事態ですが、嬉しい話でした。

自分たちにとって、コロナ禍は、危機管理がいかに出来ていなかったかと言うことが分かりました。コロナ、コロナと大騒ぎして、予測できるような対処をしてなかったことが分かりました。

また、お客様が意外とアクティブに動いてくださっていて、何が釣れて、どうなっているか、そしてフィールドが変わりました。暖かいところにヒラズギという魚がいます。5 年前までは千葉の房総半島辺りにいたのが、今は秋田県で釣れています。それだけ海が暖かくなっています。自分たちの国内の市場の販売計画は、海が変わったので、根本的に変わってきています。

海外に関しては、ロシア・ウクライナの問題がありますが、実際にはロシアのお客様は釣りをしていますし、市場は動いています。経済制裁を掛けている国なので、直接のやり取りはできませんが、ロシアに関しては隣国を貫流して支払いが来ています。ロシアのお客様は、ロシアの国の機関の方がで、時々連絡を取ると、普段と変わらないようです。日本で報道されているのとは違うようです。心配するのは、自分たちのルアーを買ってくれる人たちのことで、話を聞くと大丈夫なようです。隣国のウクライナにもお客様はいるのですが、ウクライナのお客様は、今は完全に止まっています。でも連絡は取れていますので安心はしています。

オーストラリアは、チヌやクロダイのサイズが小さいのが釣れます。日本でいうブラックバス釣りのようなトーナメントをやっています。そちらに出てくる人たちがメインの顧客になっています。

ドバイや中東から謎ですが発注が来ています。よく聞くと、ドバイの人たちは日本製のルアーが好きで、どこかに旅行に行つて釣りをするようです。毎年ドバイの国の中で、お金を出しても買えない特別

の展示会があります。希少性のあるルアーを出店しないかと話が来たこともあります。釣りの市場ではないので不思議です。

インドも最近声が掛かってきます。インドはカースト制度があります。釣り竿にルアーを付けて歩いているとカーストした下の人として見られるそうです。インドにいる友人が、釣り竿を持って歩いたら止められたそうです。部下たちから、カーストに見られるのは嫌だからやめてほしいと言われたそうです。国によって、持っているフィールド、魚、色々と違います。

世界市場に対しては、自分たちがアプローチするのは、ヨーロッパ全土の展示会に年に1回行きます。アメリカは年に2回の展示会があります。ロシアが年に4回あります。オーストラリアは年に2回あります。日本国内は、横浜、大阪で年明け早々にフィッシングショーがあります。中部でも展示会があります。

自分たちがルアーを作る時に大事にしているのは、どこかで売れてるメーカーから持ってきて作るということはやりません。自分たちが釣りで使いたいルアーを0から作っています。アクリルから造形を掛けて、手で掘って作っています。海水、淡水とそれぞれテストして、それを基に金型を作ります。何回も色々と試してルアーになります。例えば豊川宝飯ロータリークラブが寒狭川のアマゴを釣るルアーを企画したら、0からスタートして、量産できるところまで、最短で3か月は掛かります。実際には5か月は掛かります。

全社員には、普段から、何のために仕事をしているのかよく考えて欲しいと言っています。自分たちは、ルアー作って売ったら終わりではない。自分たちがやっている仕事の本質は、お客様がルアーを買ってくれて、魚を釣るところまでが仕事だと思っています。魚を釣ってくれないと意味がありません、一つ一つの材料、例えば針は自社で作れないので、針屋さんから買います。魚の口は堅いので、針は刺さらないと意味がないので、針の検査もちゃんとします。本質をちゃんとするように全社員に対して言っています。量産していくにあたり、自分がお客さんだった時に買いたい製品を作るようにと言っています。ちょっとでもキズがついてるものを次の工程に回さないように言っています。これは初代からの厳しい教育があったからです。バスデいのルアーは、基本的に誰が投げても魚が釣れるルアーを作っています。

自分が会社を継いで12年目になります。継ぐ前は開発部隊にいました。毎日毎日ルアーの開発をしていました。アメリカやヨーロッパの一部のお客さんは、物の本質を見ずに値段を先に言われます。1ドル20セントでルアーを作りたいと言ってきます。何を釣るルアーか聞くと、1ドル20セントでルアーを作ってくれば良いと言われ、自分は悩んだこともありました。会社を継いでから、その部分については少し変わりました。もっと良いものを作るから2ドル40セントで買って欲しいと交渉しようと思うようになりました。自分たちが作っているルアーは、一つ一つ手で作業して作っています。機械を使うのは金型と転写の部分です。一つ一つが子どもの様に愛おしい製品になっています。それを市場価格、トレンドとか言われて嫌だと思った時期がありました。今は、バスデいのルアーなので安心して使ってくださいと思うように変わりました。もっと釣れるものを作って勝負をしています。

穂ノ原のところに工場と開発があり、佐奈川のところは、オリジナルブランドの営業の会社があります。最近、今後この世界で、原油で揉めそうな気配があり、木を扱う木工製品をつくるアトリエを作っています。そこでは、たばこパイプと革製品を作っています。それと家具を作るチームもいます。全て、0から作り、何のために作るかということの本質としています。

ベトナムに工場が一つあります。元々は、中国の青島でやっていたんですが、青島で自分たちが育てた子たちをベトナムで独立させました。日本の本社工場と同じ形です。会社対会社でやっていけるようにしています。ベトナムのホーチミンにあります。ロータリー的な活動としては、ベトナムの孤児院4か所に、現地の日系の会社と協力してチャリティをやっています。えんぴつ、ノート、オムツなどを届けたりしています。最近考えているのは、ボーイスカウト的な感じで子どもたちに教えたいと思っています。色々と計画は進めています。

日本でも若い人たちの教育が大事だと思っています。若手を教育するところを作りたいと思って少し動いています。

危機管理も問題も取り組みたいと思っています。自分は、ボディカードの資格とセキュリティアドバイザーの資格も持っています。企業や会社、家族と言う単位で危機管理をしっかりやって頂きたいと思っています。何か起きた時の対処ができることが必要です。これから取り組みたいと思います。機会

があれば、色んなところでアドバイザー的な事をやりたいと思っています。

イトコーの会長に誘って頂きロータリーに入会させてもらい、皆さん諸先輩方に色々教えて頂きたいと思っています。セキュリティ関係の話はご相談に乗ります。出来ることはやらせて頂きます。特に会社のある豊川、豊橋では、未来を構築していきたいと思っています。ご清聴ありがとうございます。

バスデイ(株) <https://www.bassday.co.jp/>

★ニコニコボックス

- 井指和昭会員 春の行楽参加の御礼
- 早川喬俊会員 市議会議長に選任されました
- 加藤哲山会員 誕生日を祝って頂き
- 小田伊佐浩会員 //
- 井指光基会員 //
- 伊藤正幸会員 //
- 鈴木卓也会員 //
- 細井 勉会員 結婚記念日を祝って頂き
- 宇野秀幸会員 誕生日と結婚を祝って頂き
- 伊藤和典会員 //
- 青谷友章会員 事業所創業を祝って頂き
- 来山健一会員 //
- 熊澤克人会員 //
- 大場 篤会員 創業と入会を祝って頂き

★国際ロータリーFacebook 紹介

メルボルンで [#ロータリー国際大会](#) がついに開幕し、世界中から集まった方々がロータリーの国際性と親睦を存分に味わっています。友愛の家にある平和コーナーでは、「広島平和の折り鶴」が紹介され、折り鶴を折って「平和の木」に飾るよう参加者に呼びかけています。大会に参加している方はぜひお立ち寄りください！



★ゴルフ同好会コンペ

5月25日に第5回ゴルフ同好会コンペが開催されました。当日はスタート直後から雨が降り出す天候となりました。



コンペ成績		GROSS	HDCP	NET
優勝	来山健一	71	0	71
準優勝	田中健司	94	18	76
3位	小田伊佐浩	100	23	77
ニアピン	小田伊佐浩、来山健一 田中健司、山本章吾			
ドラコン	来山健一、滝下 勲、中西弘徳②			

会報担当：鈴木卓也